

# 「ヒヤリ・ハット」体験事例

令和4年8月～令和5年7月

分類 : 収集運搬  
事故の型 : 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	廃棄物の積み込みをしている時	荷台で作業している時、足元が滑った。	足元の確認をする。
2	取引先現場	荷下ろし作業中	雨で荷台が濡れていたため転倒しそうになった。	ゆっくりと慎重に作業をする。
3	取引先現場	廃棄物の回収時	荷台から降りる時に足をくじいた。	降りる時は、ゆっくりと降りる。
4	工場内	ダンプトラックから降車する時	足を地面に着地させた時、舗装されていない地面に窪みがあり、足を捻り転倒しそうになった。	重機を使用して地面を平らに整地する。

分類 : 収集運搬  
事故の型 : 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路交差点	交差点を右折しようと右折レーンに入ろうとした時	後方から、かなりのスピードで右折レーンに突っ込んできた。幸いサイドミラーで確認できたので衝突しませんでした。	車線変更する時は必ず確認を忘れないようにする。
2	取引先現場	廃棄物の回収時	袋をもって歩いていた時、横から原付が走ってきて接触しかけた。	周りを確認し、人や自転車、原付等が近づいてきたら、立ち止まるようにする。
3	一般道路	収集に向かう途中、横断歩道の前で信号待ちをしていた時	両耳にイヤホンを付けた女性が左右確認をせず、横断歩道を渡りはじめ、対向車線の車が横断歩道のすぐ近くまで接近し、女性と接触しそうになった。	横断歩道の有無に関わらず、歩行者には注意をはらって走行する。

4	一般道路	ガソリンスタンドから道路に出ようとした時	自転車が来ていたことに気づかず接触しそうになった。	繰り返し確認を行う。
5	一般道路	車両運転中	前の車が急にブレーキを踏み減速したため、接触しそうになった。	十分な車間距離を確保する。

分類 : 収集運搬  
事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	自社内	大きめのコンクリートがらを人力で車両に積み込みしようとした時	コンクリートがらを荷台に投げ損ね、足元に落ちてヒヤリとした。	重量のあるものは重機による積み込みを行う。人力で積み込みをする場合は複数人で声を掛け合い作業する。

分類 : 収集運搬  
事故の型 : その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	廃棄物の回収時	サイドブレーキが甘く車が動いた。	停車する時は、サイドブレーキをしっかりとかける。
2	取引先現場	廃棄物の回収時	割れたガラスが袋を突き破り露出していたため手に刺さりそうになった。	積み込みする時は確認し、注意する。

分類 : 中間処理  
事故の型 : 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
----	-----	----------	----------	--------

1	工場内	バックホウを操縦して、がれき類の積み上げ作業を行っていた時	廃棄物を積み上げている法面の際に、バックホウを近づけすぎて、バランスを崩しそうになった。	バランスを崩すような場所にまで、バックホウを乗り入れない。方塊を用いて、強固な仕切り壁面を作り、ただ廃棄物を積み上げるだけではなく、境界を明確にして安全な作業環境をつくる。
2	工場内	コンテナに上がってシートをかけ外しする時	足場が悪く滑って転倒、転落しそうになった。	コンテナの上に行く時は足元の確認、特に雨天時は滑りやすく転倒・転落の危険性があるので、十分に注意する。
3	工場内	作業終わりに、階段を降りる時	階段に物が散乱していたが、そのまま降りようとしたため、物を踏んで滑ってしまい、落ちそうになった。	人が通行するところは常に清掃し、障害物がないよう安全を確認、確保しておく。一時的な場合を除き、通路、階段、人が通るところには障害物になるようなものを置かない。

分類 : 中間処理  
 事故の型 : 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	雨の中、フォークリフトで廃棄物を運搬している時	ブレーキペダルを踏みこむ際、足が滑りブレーキが踏めず、ヒヤッとした。	雨の日にかかわらず、注意して安全に運搬作業をする。
2	工場内	廃棄物を搬入時	自社のバックホウと搬入車両が接触しそうになった。	ヤード内で搬入車両が移動する時は、誘導員を配置する。
3	工場内	二人でフレコンバックを梱包し、フォークリフトで移動しようとした時	作業員が離れていないにも関わらず、運転員がフレコンバックを移動しようとし、作業員がフレコンバックと接触しそうになった。	フォークリフトに乗る際は、周辺に接触しそうな人や物がないか確認する。複数人で作業する際は、声掛け、合図を必ず行う。作業員、運転員ともに危険予知を行い危険を回避する。
4	工場内	パワーショベルで場内を移動中	見通しの悪い場所でダンプトラックと対向し衝突しそうになった。	通路を広く拡幅する。

分類 : 中間処理  
 事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
----	-----	----------	----------	--------

1	工場内	コンテナ内の廃棄物を重機で押し込んでいる時	長い木が折れて、外に飛び出し、人に当たりそうになった。	飛来することも想定し、コンテナの周りに人が近寄らないようにする。
2	工場内	ホイールローダの下部をグリスアップ作業中	上向きで作業をしている時、重機の底部についていた泥が顔に落ちて目に入りそうになった。	防塵メガネを着用する。
3	工場内	波板タン(鉄)を下ろしている時	波板タン(鉄)が風で飛ばされ、人に当たりそうになった。	強風の時は、人が近くにいることを確認し、できるだけ重機などで下ろすようにする。

分類 : 中間処理  
 事故の型 : 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	雨の日に塩ビパイプを押し切カッターで切断中	塩ビパイプが濡れていたため、手を滑らせてカッターで手を切りそうになった。	滑り止めのある手袋などを着用して作業する。

分類 : 中間処理  
 事故の型 : 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
2	工場内	稼働中のベルトコンベアのスカートにバールを押し込んでいる時	ベルトコンベアにバールが巻き込まれた。	機械を停止し、安全を確認してから作業を行う。
3	工場内	ホッパー内に入って清掃作業中	他の作業員が中に人がいることに気づかず、リフトでホッパー内に資源ごみを投入しかけた。周囲の人が気づいて大事には至らなかった。	ホッパー内を清掃する際は、清掃中の看板を取り付け、中に人がいることを分かるようにする。
4	工場内	機械設置に関わる玉掛け作業中	荷下ろしの指示をしたが間違えて伝わり、クレーンオペレーターが荷上げしてしまった。降りてくると思っていた玉掛け担当者は、ワイヤーを持っていたので、機械とワイヤーに手を挟みかけた。	作業場が暗くてオペレーターと意思疎通がとりにくく、一緒に作業していた他の従業員も指示出しをしていたので、オペレーターは専任者の合図のみを見て作業するよう徹底しチーム内で共有した。

5	工場内	圧縮機にプラスチックを落とし込んでいる途中、プラスチックが詰まったので電源を落とし、足で下に落とそうとした時	プラスチックが思ったより急に落ち込んだので、バランスを崩し本体に足が挟まりそうになった。	圧縮機が詰まった時は自分の手足で落とそうとせず、バール等を使用する。
---	-----	--	--	------------------------------------

分類 : 中間処理  
事故の型 : その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	フォークリフトで荷物の整理をしていた時	バックをした時に工具を踏んで破損させた。幸い作業を終えていたため、人身事故には至らなかった。	作業終了前で、注意不足になっていたので時間に余裕を持つ。余裕がない場合は、声掛けをする。また、暗い場所があったので、照明をLED化し安全に作業ができるよう改善する。
2	工場内	発砲スチロールを溶かし、インゴットを製造中	ヒーター部分のボルトの取り付けがあまく、発砲スチロールが詰まり、熱を発生し、煙が出た。	ヒーター部分のメンテナンスを行う場合は、取り付け金具をしっかりと固定し点検を行う。
3	工場内	工場内を見回している時	手すりが錆で取れかけていた。	すぐに手すりの取り換え、補強をした。

分類 : 最終処分  
事故の型 : 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	自社内	防災調整池の浮遊ゴミの取り除き作業中	水面に近づこうと、法面を降りる際、滑って転倒した。	滑り止めスパイクのついた長靴を着用する。

分類 : その他  
事故の型 : 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
----	-----	----------	----------	--------

1	自社内	車で会社から出ようとした時	出入口の前方にはミラーを設置しており、左から来る車を確認できるようになっているが、ミラーが見えにくいいため、左から来る車に気が付かず、ハッとしました。	ミラーを大きなものに取り換え、注意の標示を設置した。
2	一般道路	通勤のため車を運転している時	一時停止をして、車を発車した時、左から来る車が一時停止をせずに前進してきた。	交通ルールを守り、危険予測をしながら、車の運転を行う。
3	一般道路	退社のため車を運転している時	信号無視してきた自転車と衝突しそうになった。	報告書を作成し、職場内で回覧する。
4	取引先現場	舗装版をバックホウで取り壊している時	旋回したバックホウとダンプが接触しかけた。	作業半径内立入禁止を徹底し、お互いに周囲の安全確認をするようにして作業を行う。

分類 : その他  
事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	つかみ機付きのバックホウでスクラップをトラックに積み込み中	つかみ機でつかんだスクラップが跳ねて飛来し、バックホウのキャビンに接触した。	つかみ機でスクラップをつかむ時はゆっくり操作し、スクラップが跳ねないように作業する。